

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2017年8月2号

新日鉄住金火災・死亡事故・ばいじん で政府交渉一大分市議団も参加

8月23日～24日、日本共産党大分県委員会と同地方議員団の政府交渉には、真島省三衆議院議員、松岡勝衆議院・九州沖縄ブロック比例予定候補も同席しました。



(豊予海峡計画で国土交通省との意見交換で発言する福間)

党大分市議団3名は、多発している新日鉄住金の火災や死亡事故、ばいじん規制、豊予海峡計画、児童相談所設置、国保の都道府県化、介護保険、マイナンバー、看護師・歯科技工士の処遇改善などについて、関係省庁とレクチャーをおこないました。

豊予海峡ルート「国土計画の位置づけなし」

国土交通省の担当者は、「閣議決定はしているものの、平成20年に調査中止、国土計画における位置づけはしていない」との見解を示しました。



新日鉄住金の火災・死亡事故では、総務省消防庁は「直接現地に出向き調査し、助言・指導をおこなった」厚生労働省・経済産業省からも指導内容について説明を受けました。児童相談所設置については「大分市との協議が始まった」「歯科技工士の実態調査をおこなう」ことなども明らかになりました。

(国保で要望する福間) 国保の都道府県単位化については「納付金・標準保険税率の早期の公表を求めました。」

ヘイトスピーチで川崎市を視察



(川崎市議会・会議室にて)

8月22日は、ヘイトスピーチ規制でガイドラインを設けて、先進的な取り組みをしている川崎市で、現状・対策、今後の課題などを調査しました。

豊予海峡ルート市民学習会

——約60名の参加で活発な意見交換——

8月19日、大分市議団主催の学習会が開かれました。1部は、大分市企画部の担当者より、計画の内容について報告がありました。参加者からは「計画路線には活断層があり、地震の危険がある」「ゼネコン向けの大型工事に多額な予算投入は、市民の暮らしに影響を与えることになる」など、多くの疑問・意見がだされました。



2部では、今後の運動について、党市議団より提案をおこないました。

ゼネコン向けの大型公共事業は、地方創生にはつながらない。

(市議団の提案をする福間) 仮称「豊予海峡ルート計画中止を求める大分市民の会」の設立を提案し、準備会の立ち上げがすすめられることになりました。

人間らしく生きる権利保障を

生存権裁判を支援する大分の会第3回総会

8月19日、アートプラザ研修室で開催されました。1部では、貧困問題の現状と課題と題して、柿田裕介(大分大学準教授)による講演がおこなわれ、貧困なくすとりくみへの理解を共有することができました。



(講演する柿田先生) 私も引き続き理事に選任されました。

2部では、「会」の運動の経過報告と今後の方針について、加藤事務局長より提案があり、満場の拍手で採択されました。また新役員の提案も拍手で確認されました。

アパート火災被災者をお見舞い



東京出張中、大道校区のアパートが焼失。隣接のビジネスホテルに身を寄せている14名の被災者をお見舞い、今後の生活設計について相談を受けました。

(焼失したアパート)

暮らしや地域の要求をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

